
他人の恋路を邪魔すんなあ！！

朝比奈誓

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

他人の恋路を邪魔すんなあ！！

【Nコード】

N2889Y

【作者名】

朝比奈誓

【あらすじ】

作者の小説キャラクター達を暴走させながらのフリートーク。星空文庫からの転載です。

第一回

「おふぁよー」

眠いな目を擦りながらドアを開ける。

ドアの先には、少女ーというには歳を取っている女性が4人。

「おはよー」

「はよ。遅かったわね」

「おはようございます」

「おはよう、優ちゃん」

この週一の集まりが僕の人生の楽しみである。

世間一般に言う、女子会。

女性だけが集まり語らう会であり、本来僕の用な“男”は入る事は許されない。

…だが。

「優ちゃん彼氏できた？」

「…出来る訳ないじゃん。僕はおっ」

「優はセンスが微妙だからな」

「私が服を選びましょうか？」

「いいねえ栞！じゃあ、買い物行く？」

「行く」

「どこ行く？」

「…うーん……あ、この前新しくできた駅前んどこ行かない？」

…僕の場合、男と見なされてはいからOKらしい……。でも僕はよく女と間違えられるのであまり気にしていない。それに、目の前の彼女達が僕を下着店に連れていくのだと暴走した時に少し止めてやれば、女性4人を一人じめ。しかも相手はこちらを警戒していない訳で。

「最高だよなア……」

「おっ？優が最高だって。うし、行くか！」

「え、別にそういう意味じゃないし！」

「行くつたら行くつ！！」

「ええっ……………」

…暴走しまくるのが欠点…………

「つか今日来客あんだろ！？」

「…あー、そーだった」

「誰来んの？」

「知らん。優、誰なん？」

「七木さんでしょーが！」

「ナナギ？そんな人いたっけ」

「ナナギさんいつ来るんですか？」

「12時」

準備しねーとなあ…………

「まあ…………準備しよか」

第二回：七木結花

「こんにちは」

ナナギが部屋に入る。

「あ！ナナギ、おはよう」

「七木さん、初めまして！」

「ナナユイこんつ！」

「ナナギイ……なんで今日来たの？」

「七木、座れ」

……僕が軌道修正させないと。

「じゃ、改めて！ナナギ。自己紹介を」

「あ、はい。えと、七木結花ななきゆいかです。16です。ネット小説で駄文ばつかり書いております。てかこれの星空版の作者なんだけど」

「あーつと。てかこれからどーする？」

「誓、このあとひとり来客あるでしょ？」

漣キリカが誓をなだめるように言う。サザキリ、サンクス。

「で、その来客ってのは誰よ？」

「確か……余賀さんじゃね？」

「公曆か……日々色々は無茶させてるからね。少しくらいもてなさない」と

「ういつし。ナナギ、手伝え」

「あたし客人じゃないの？」

七木が不満そうに尋ねる。

「いや……あなたさ、今からローカルメンバーで良くない？」

「そうだよ。原作者だしね」

「私も賛成です」

「あたしも」

「僕も」

「満場一致っ」

「…まったく、強行手段ばっかだな」

ナナギは渋々ながらも了解したっぽい。なら良い。

「じゃあ、余賀さんをもてなす準備しませうか」

…なんだかなあ。

第二回：七木結花（後書き）

次回、C-collapseより余賀公磨登場！

作者小説キャラクターのフリートークだし、二次製作には設定しなくていいよね。

第三回：ファッションに気を配るのも乙女なのです「ゲスト・余賀公麿」（前書

誓「今回からほぼ会話& amp・書き方変更です」

栞「あところの話まだ書きかけですorz」

第三回：ファッションに気を配るのも乙女なのです「ゲスト・余賀公麿」

高菜「優ー買い物行こーよー」

優「うつせえ。つか来客あんだろーがよ」

誓「別にいいじゃん。あんたのその真冬でもTシャツ七分ズボンのほうが深刻な問題だから」

優「だからって人を指指すな無礼者」

菜「でも優ちゃんの服装には問題あると思いまーす」

結花「確かに：いくらグリスタ使いたくないからってそれは酷いわよ」

優「うつせえな！あんたたちがグリスタ使いまくってひどい目にあつてつからその教訓をいかしてんだろーが！」

高菜「はあ！？」

優「グリスタ持ってない高菜が口答えすんな」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2889y/>

他人の恋路を邪魔すんなあ！！

2011年11月22日23時47分発行